

[特別付録]長期投資におすすめ！著者 厳選の10銘柄ランキング

コロナウイルスの影響で株式はどれも値段が下がっています。しかし、大きく株価が下がったときは、逆に有力な企業の株を普段よりも割安で買えるチャンスでもあります。

長期投資に向けた優良企業で、10から30万程度で買うことのできる株をピックアップしましたので参考にしてみてください。

記事に『株主優待』や『配当利回り』などの言葉が出てきますが、それは株を1年間のある日まで持っておくと、その企業から優待品という形でプレゼントがもらえたり、配当という現金が支給されたりする制度が株にはあります。これも長期投資のメリットの一つです。

なお、株価や優待品、配当利回りなどは全て2020年3月27日を基準にしています。

1位 KDDI<9433>

auブランドを手がける通信会社。

株価3,337円。最低購入金額333,700円

配当利回り 3.45%

株主優待 毎年3,000円分のカタログギフト。5年以上保有すると、毎年5,000円分に増額。

2013年から2017年までは右肩上がりに安定的に株価が上がっていました。コロナショックの影響で一時値を下げましたが、わずか1ヶ月で下落前と同じ金額まで株価を戻した力強い企業です。通信業界はこれから5Gで盛り上がることでしょう。利回りも優待もとても良いのでおすすめです。

2位 新晃工業<6458>

業務用の空調設備を提供する企業。東京ドームやあべのハルカスでもこの会社の空調機器が使われています。

株価1,509円 最低購入金額150,900円

配当利回り 3.84%

株主優待 1,000円分の図書カード

こちらも2012年から現在まで安定して株価が上がっている実績があります。会社の業績もよく、コロナショックで株価が下がったまま、まだ戻りきっていないので、買いどきかもしれません。

3位 日本電信電話<9432>

言わずとしたNTTグループの持株会社。

株価 2,700円 最低購入金額270,000円

配当利回り 3.33%

株主優待 dポイントの配布。保有期間が2年に達した株主は1,500ポイント。5年に達すると3,000ポイント。

2013年から2018年ころまでは、株価が上がり続けていました。コロナショックからは、すでにもとの値段まで戻しているのので、ほぼ立て直したと言って良いでしょう。元国営だけあって、不況でも堅実に買われる安定感のある企業です。

4位 リコーリース<8566>

コピー機などのリースを中心に金融事業などにも力を入れています。

株価 3,060円。最低購入金額306,000円

配当利回り 2.94%

株主優待 quoカード3,000円相当

ここ数年の間は、株価が上下しながらきれいなチャートを描いて堅実な成長をしてきました。コロナの影響で40%近く下落しましたが、もともと着実に成長してきた会社だけあって割安感があり、ぐんぐん値を戻しつつあります。利回りもそこそこ良いので買いどきかもしれません。

5位 ソフトバンク<9434>

通信大手。有名なソフトバンクグループ。

株価 1,440円 最低購入金額144,000円

配当利回り 5.9%

株主優待 なし

スマホ事業はほとんど確立しきった状況で、急成長はないかもしれませんが、5Gなどで今後まだまだ伸びしろがあります。最近、自社資産を売却する発表がありましたが、それは

株価を上げたいという意識の高さの裏返しでもあります。配当利回りもたいへん高いので、長期で持てば配当金の収益だけでもそれなりの利益が期待できるでしょう。

6位 センチュリー21<8898>

不動産の仲介業。テレビCMでも有名ですね。

株価 1,189円 最低購入金額118,900円

配当利回り 4.20%

株主優待 なし

2011年から2017年ころまでは安定的に上げが続いていた企業ですが、その後2年ほどはじりじり下げ苦しい状況が続きました。

景気の影響を受けやすいと言われる不動産業ですが、ただこの会社はコロナショックの影響も限定的で力強さを見せており、2019年からは再び株価が上がり始めたこともあって注目の株です。配当が高いのも魅力ですね。

7位 サンドラッグ<9989>

全国にドラッグストアを展開。

株価 3,504円 最低購入金額350,400円

配当利回り 1.94%

株主優待 おこめ券3kg分と自社ブランドのヘアケアセット

2011年ころからずっと株価が上がり続けてきた反動で、2018年から1年間は下げが続いていました。その後、再び反発して株価が上がり始めた矢先にコロナで株価が落ちましたが、落ちた分はまた戻しており、今回の騒動でドラッグストアの存在が注目されたこともあり今後に期待できる企業です。今回紹介する中では配当が低めなのと、やはり人気の株だけあってやや購入金額が高めですね。ただ今は割安かもしれません。

8位 日本航空<9201>

航空会社JALを展開。

株価 2,130円 最低購入金額213,000円

配当利回り 5.16%

株主優待 国内線の50%割引券が年2回

誰もが知っているJALですが、今回のコロナ騒動で、航空業界は最も被害を受けた業界の一つでしょう。

航空機の需要自体は安定的で、企業としては元々優良で配当も高いですが、航空業界のコロナの被害はまだ計り知れません。もう少し様子を見たほうが良いかもしれませんが、割安感があります。

9位 日本たばこ産業<2914>

JTグループの持株会社。

株価 2018円 最低購入金額201,800円

配当利回り 7.63%

株主優待 2,500円相当のこしひかり等自社商品

2016年から下落が続いていて、煙草製品は法律で取り締まられたりといった外部環境の影響も受けやすいです。ただ配当利回りの高さはとても魅力的で長期保有者には人気があります。

10位 楽天<4755>

ネット通販大手。

株価809円 最低購入金額80,900円

配当利回り 0.55%

株主優待 楽天トラベルの2000円相当クーポン。楽天市場などで使える電子マネー楽天キャッシュ500円分

通信事業に新たに参入したこともあり注目されていますが、株価はここ数年でかなり下がっています。売上も赤字も伸びている状況で、今後上がるかさらに下がるか、どちらに針がふれるか注目の企業と言えるでしょう。最低購入金額が安いので、楽天証券に口座を作ってそのまま買う人もいるかもしれませんが、配当の安さや株価の変動には注意が必要です。